

地元で育てた木を、地元で使う。
木にも、人にも、地球にも、それが一番いい。

はるばる遠くの外国から来る大量の木材。
国内の木材自給率はわずか2割です。私たちの消費行動が、
外国の森にも影響を及ぼしているとしたら…。

輸送にはたくさんの二酸化炭素を排出します。
それが地球温暖化に大きく関係しているとしたら…。

地元で育てた木を使えば、輸送距離が少なくすみ、
地球温暖化防止に貢献します。

全国初! 京都から始まる温暖化対策 京都府産木材認証制度スタート

京都府では、地元産の木材製品を認証する取り組みを始めました。

認証された木材製品は、それが運ばれる間に排出された二酸化炭素
の量を「ウッドマイレージCO₂」*として算出できます。

*ウッドマイレージCO₂は

- ・木材量と輸送距離に、輸送手段（車、船…）
ごとの係数をかけて出します。
- ・kg-CO₂（二酸化炭素の排出重量）という単位で、
輸送距離が短いほど、数字が小さくなります。

京都府産木材認証制度では

- ・消費者は計算書を入手することができます。
- ・インターネットで認証された木材製品の取り扱い
業者を知ることができます。

「ウッドマイルズ・ウッドマイレージ」は、ウッドマイルズ研究会の登録商標です。

2005年2月16日 京都議定書発効!

 京都府

京都府指定
認証機関 京都府地球温暖化防止活動推進センター

連絡先

京都府農林水産部林務課
TEL : 075-414-5005 FAX : 075-414-5010
URL : <http://www.pref.kyoto.jp/forest/index.html>

京都府地球温暖化防止活動推進センター
TEL : 075-211-8895 FAX : 075-211-8896
URL : <http://www.kcfca.or.jp/>



制度の特徴

(1) 基本は民間運営

京都府が制度の枠組みを決め、認証機関と事業者を指定もしくは認定しますが、認証制度自体の運営は民間の知恵や工夫を活かす仕組みを目指しています。

(2) 第三者機関による地域材認証

木材の生産や流通・加工に関係しない第三者である京都府地球温暖化防止活動推進センターを認証機関として指定することで制度の透明性を高める工夫をしています。

(3) 環境指標「ウッドマイレージCO₂」

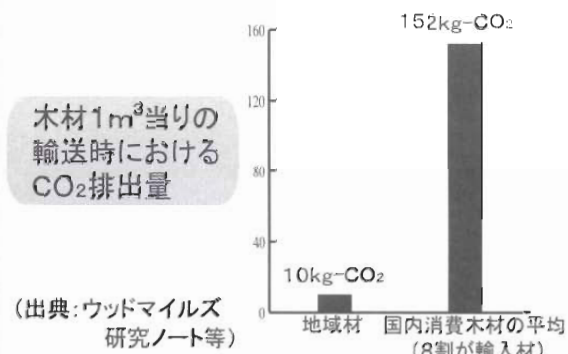
輸送における地球温暖化の環境影響を消費者に意識してもらうために、木材輸送に係る二酸化炭素の総排出量を計算して示すことができる仕組みを持っています。

「地域材」は地球に優しい資源です。

木材は鉄やアルミニウムなどの建築資材に比べて、わずかなエネルギーで生産できる環境負荷の少ない原材料です。

しかし、日本で使用されている木材の8割は遠く海外から多くのエネルギーを使って運ばれてきています。

地元の木材を使うことで、地球温暖化防止に貢献できるのです。



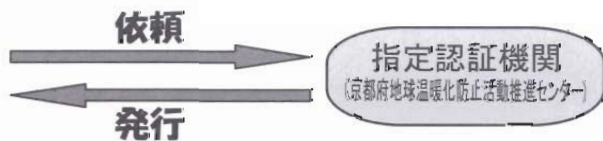
認証制度の仕組み



① 京都府内で生産され、京都府から認定された取扱事業者を流通した「京都府産木材」。

② 京都府産木材には「表示ラベル」が貼付されています。

③ 消費者は京都府産木材について、京都府温暖化防止センターに依頼することで、その木材の履歴と輸送時に排出される二酸化炭素排出量を記載した「京都府内産木材証明書及びウッドマイレージCO₂計算書」を入手することができます。



京都府産木材取扱事業者一覧(丸棒と合板に限る)

素材生産業者

綾部市森林組合、宇治田原町森林組合、亀岡市森林組合、京都市森林組合、京北町森林組合、園部町森林組合、丹後地区森林組合、丹波町森林組合、日吉町森林組合、福知山地方森林組合、舞鶴市森林組合、瑞穂町森林組合、宮津地方森林組合、美山町森林組合、八木町森林組合、和知町森林組合、和束町森林組合

木材市場

株式会社北桑木材センター、株式会社八木木材市場、京都丹州木材協同組合

加工事業者

京都府森林組合連合会、林ベニヤ産業株式会社(舞鶴工場)

木材販売等業者

芦田商事株式会社、越智産業株式会社、笠浪株式会社、株式会社ウッドレックス大阪営業所、株式会社ザイエンス大阪支店、株式会社サンプレス近畿営業所、株式会社パネシス、株式会社宮幸、信楽町森林組合、高石機械産業株式会社、丹和建材株式会社、辻井ホームデポ株式会社、辻井木材市売株式会社、ナイスザイコー株式会社、ナイスザイコー株式会社舞鶴営業所、浜宗産業株式会社

(五十音順)

※上記は2005年4月現在、認定済みの取扱事業者です。最新の情報は、京都府または指定認証機関である京都府地球温暖化防止活動推進センターのウェブサイトでご覧になれます。